

(1) 工事コストの低減

⑩建設副産物対策

ウッドチップ舗装に伐採木を活用し、副産物の発生を抑制

東北地方整備局国営みちのく杜の湖畔公園工事事務所
オートキャンプ場建設工事

【施策の概要】

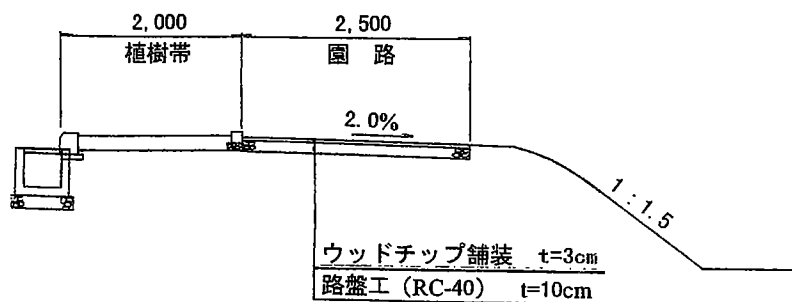
従来、公園内の園路はアスファルト舗装を基本とし、遊歩道など主に歩行者の快適な歩行を重視する園路についてはゴムチップ舗装にするなど、園路の機能性を重視した整備を行ってきました。

オートキャンプ場建設工事においては、機能性に加え、自然環境との一層の調和を重視しウッドチップ舗装を採用しました。これにより、工事で発生した伐木材を焼却処分することなく舗装材料に有効活用することができ、歩行に適したクッション性(弾力性)を有し、また透水性に優れ、環境・景観及びリサイクル性の向上を図りました。また、ゴムチップ舗装に比べ約20%のコスト縮減が図られました。

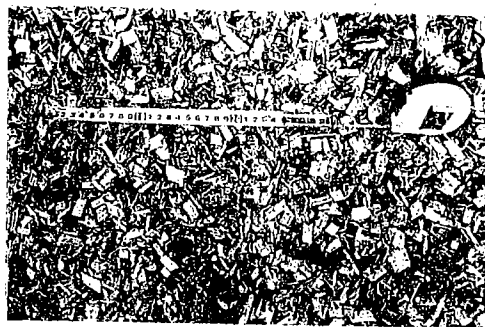
【施策のポイント】

- ・間伐材や剪定枝等の木材資源を有効活用することにより、環境に優しく省資源化に寄与することができます。
- ・施工箇所がオートキャンプ場内の園路であるため、周辺の自然環境との調和がより一層図られます。
- ・従来は歩行者の快適性を考慮した場合、ゴムチップ舗装を採用していましたが伐木材を利用することにより、自然の風合いと歩行者に優しいクッション性(弾力性)の向上が図られます。
- ・現場で発生した伐木材・剪定枝を利用することにより、木材資源の有効活用とリサイクル率の向上が図られます。
- ・従来のゴムチップ舗装に比べ、約20%のコスト縮減が図られました。

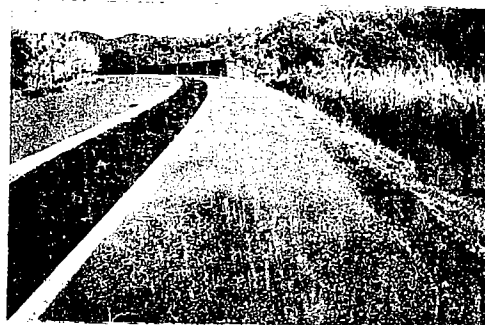
【施策の実施状況・イメージ図】



断面図



ウッドチップ舗装材



完成